

科目名	基礎運動学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							1年 後期
【授業の目的・ねらい】 人の体を運動を通して構造と機能を学ぶ							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 骨・関節・筋・神経との関連を運動を通じて学ぶ							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 関節構造を理解でき、関節ごとに必要なメカニズムと関節運動や筋活動を説明できる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	オリエンテーション、生体力学						
2	生体力学						
3	生体力学						
4	関節運動学概論 1						
5	関節運動学概論 2						
6	肩関節の運動 1						
7	肩関節の運動 2						
8	肩関節の運動 3						
9	肘関節および前腕の運動 1						
10	肘関節および前腕の運動 2						
11	手関節の運動 1						
12	手関節の運動 2						
13	手指の運動 1						
14	手指の運動 2						
15	まとめ						
定期筆記試験							
【 使用教科書・教材・参考書 】 基礎運動学（中村隆一）医歯薬出版、エッセンシャルキネシオロジー（弓岡光徳）南江堂 15 レクチャーシリーズ運動学（石川朗）中山書店							
【 準備学習・時間外学習 】 前期に学習した自然科学や解剖生理学Ⅰ（運動器系）および解剖生理学Ⅱ（神経系）の復習を十分行い、授業に望むこと。また、講義内の単元ごとに復習授業を実施するため、その復習授業に向けた資料作成の準備を怠らないこと。							
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テストを30点、定期筆記試験を70点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							